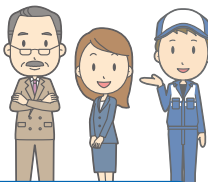


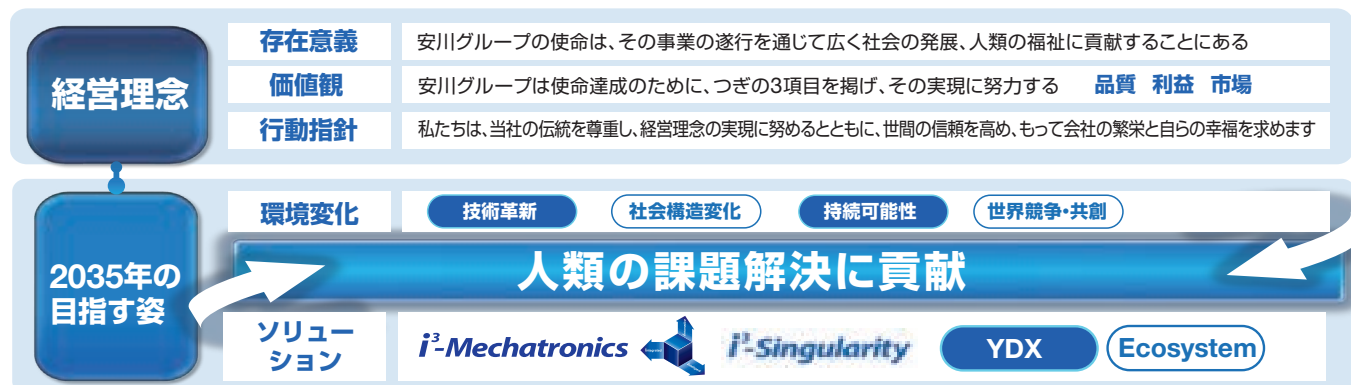
長期経営計画「2035年ビジョン」 中期経営計画「Dash 35」

安川電機は2026年度から新たな長期経営計画「2035年ビジョン(2026年度~2035年度)」と、その実現に向けた第一ステージとなる中期経営計画「Dash 35(2026年度~2029年度)」をスタートしました。創業以来培ってきた技術とソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」^{※1}を軸に、お客さまの経営課題の解決とサステナブルな社会の実現を目指します。



安川グループ経営理念と2035年の目指す姿

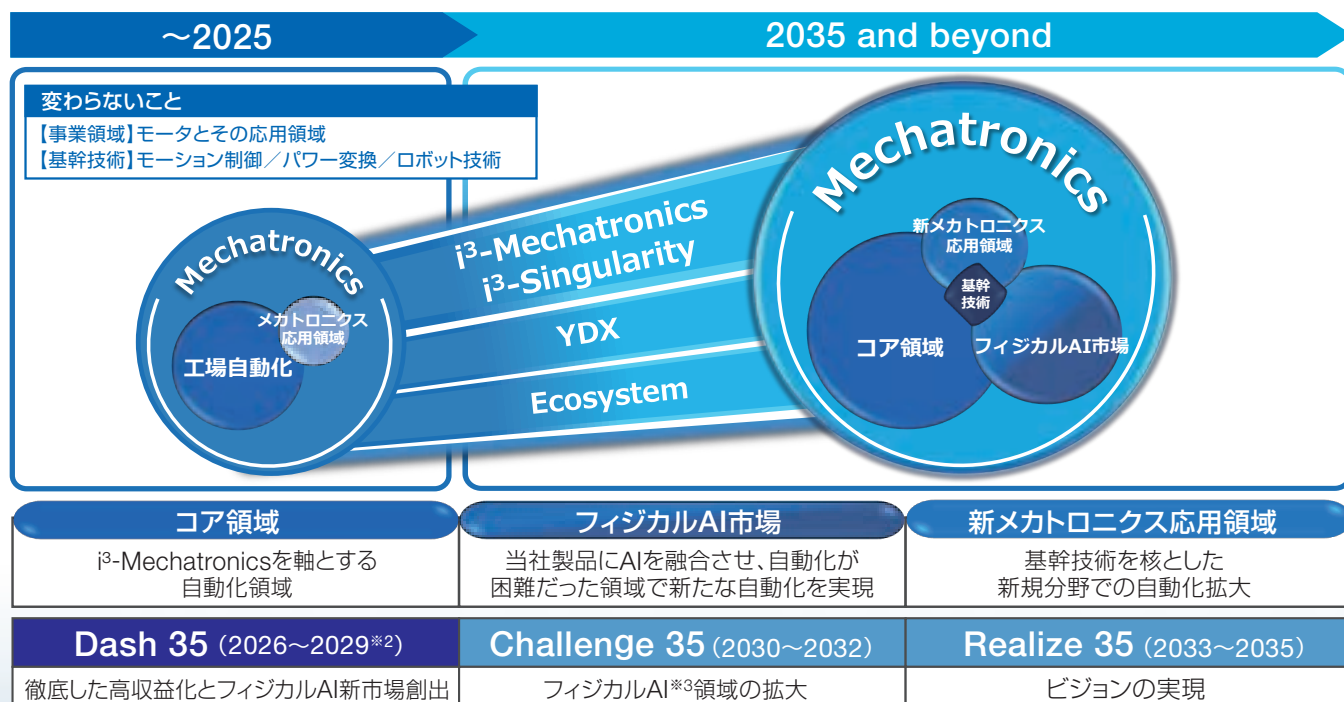
経営理念を実践し、革新的な技術により人類の課題解決に貢献する



※1：当社が1969年に提唱した「メカトロニクス(メカニズムとエレクトロニクスを融合した造語)」に3つの「i」(integrated:統合的、intelligent:知能的、innovative:革新的)を重ね合わせ、お客さまの経営課題の解決に寄与するソリューションコンセプト。

「2035年ビジョン」における「Dash 35」の位置付け

技術革新によりMechatronics領域を拡大し、社会の持続的な発展に貢献する



コア領域	フィジカルAI市場	新メカトロニクス応用領域
i ³ -Mechatronicsを軸とする自動化領域	当社製品にAIを融合させ、自動化が困難だった領域で新たな自動化を実現	基幹技術を核とした新規分野での自動化拡大

Dash 35 (2026~2029 ^{※2})	Challenge 35 (2030~2032)	Realize 35 (2033~2035)
徹底した高収益化とフィジカルAI新市場創出	フィジカルAI ^{※3} 領域の拡大	ビジョンの実現

※2：2年×2年に層別・実行。「高収益化」:最初の2年重点化。

※3：「当社製品とAIを融合させることで、これまで自動化が困難であった領域でのユースケースを具現化するもの」と位置付け。

「Dash 35」基本方針

コア領域の徹底した高収益化とフィジカルAI技術により新市場を創出する

1. フィジカルAI市場の開拓
2. i³-Mechatronicsの実践拡大
3. 世界一にこだわる新製品開発
4. 新メカトロニクス応用領域の事業拡大
5. YDX^{※4}の進化とi³-Singularity^{※5}

※4：YASKAWA Digital Transformationの略。経営資源の可視化・一元化とその最適配置を目指した活動や、製品・サービス視点でのお客さまへの価値創出を実施。

※5：これまで取り組んできたi³-MechatronicsにAIを組み合わせることで、その実行力を拡張・飛躍させていく考え方。

財務目標^{※6}

「営業利益」「営業利益率」を最重要KGIとして位置付けています。

指標	2025年度実績	2026年度見通し	2027年度目標	2029年度目標
売上収益	5,421億円	5,800億円	6,000億円	6,500億円
営業利益	473億円	600億円	720億円	1,000億円
営業利益率	8.7%	10.3%	12.0%	15.4%
ROE ^{※7}	7.7%	9.6%	10.0%	12.0%以上
ROIC ^{※8}	6.9%	8.5%	9.0%	11.0%以上
配当性向	50.0%	41.9%	40.0%	40.0%以上
2026年度~2029年度投資計画	累計投資額：2,500億円 (対売上収益比率 10%) うち 設備投資：1,300億円 うち 戦略投資：1,200億円			

※6：2026年5月外部発表時点。

※7：Return on Equity (自己資本利益率)=親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ ((前期末親会社所有者帰属持分+当期末親会社所有者帰属持分) ÷ 2)

※8：Return on Invested Capital (投下資本利益率)=親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 投下資本

2035年ビジョン Dash 35



「2035年ビジョン」と
「Dash 35」を詳しくチェック!

■ お問い合わせ先

コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課
TEL：093-588-3076